

■住宅ゾーンでの意向把握を進めています！！(その2)

大泉学園駅北口地区では、土地利用の状況や道路等に応じて、4つのゾーンに分けてまちづくりを進めています(下図参照)。

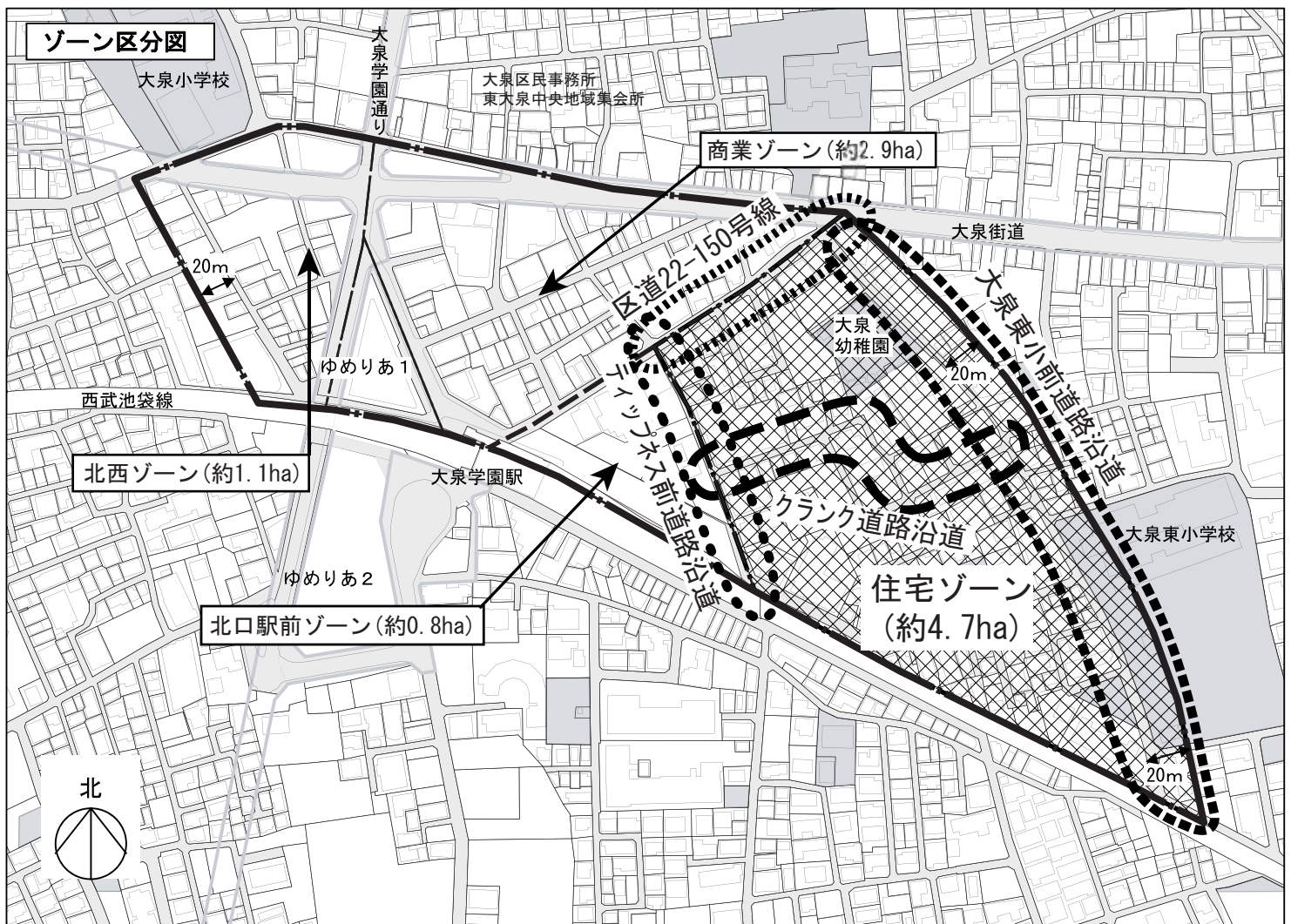
まちづくりニュース2009夏号で住宅ゾーンの地区計画案に関する意向把握の状況をお知らせしましたが、現在も引き続き住宅ゾーンでの意向把握を行っています。

この間に、ティップネス前の道路に面する土地建物の権利をお持ちの方々以外に対しては、個別訪問又は郵送によるアンケート調査を行っており、今後ティップネス前の道路に面する権利者の方々についても、順次意向をうかがわせていただく予定です。

なお、住宅ゾーンの意向把握の最終的な結果については、次号のまちづくりニュースで報告する予定です。

※大泉東小学校前道路に面する土地建物の権利をお持ちの方々への意向把握状況については、まちづくりニュース2009夏号をご覧ください。

※現在、商業ゾーンでは、懇談会案をもとに地区計画案の修正を行い、都市計画決定に向けた図書の作成を行っています。その他のゾーンについては、商業ゾーン、住宅ゾーンに引き続き検討を進めていく予定です。



■まちづくり懇談会を通してのこれまで検討概要と成果概要(その1)

大泉学園駅北口地区では、まちづくり懇談会を設立してから、はや5年となりました。本号では、これまでまちづくり懇談会での検討概要を通して実現してきた主な内容についてご紹介します。

まちづくり計画案の作成、及び地区計画案の作成		その他の検討事項、及び成果等	
H17.2~	大泉学園駅北口の資源・課題・アイデアの洗い出し		
		H17.7	大泉学園駅入口第二交差点への横断歩道・信号機の設置[右①]
H17.8~	北口地区まちづくりに関するアンケート調査の実施 [地区内住民・事業者(全戸)、駅勢圏居住者(無作為抽出)]		
H17.10~	道路・交通・歩行者空間・街並み・防災・防犯等の検討		
H18.3~	まちづくりの方向性とアイデアのまとめ		
H18.5~	商業ゾーン部会・住宅ゾーン部会の発足	H18.5	西友建て替えにあたってのまちづくりへの協力要望書(店舗導入・公開空地利用)
H18.6	先進地視察の実施(世田谷区桜新町・川崎市元住吉・横浜市元町仲通り)		
H18.6~	商業ゾーン部会・住宅ゾーン部会毎に計画検討		
H18.10~ 11	地区計画などのまちづくりへの意向把握アンケート調査(土地建物所有者)	H18.10	駐輪場・違法駐輪対応検討
H19.1~	商業ゾーン・住宅ゾーンの地区計画案の検討開始		
H19.7	まちづくり計画・懇談会案のとりまとめ		
H19.10~ H20.1	商業ゾーンの地区計画案に関する意向把握調査(土地建物所有者。個別訪問又は郵送)	H19.10	大泉学園駅入口第一・第二交差点の渋滞緩和のためのセンサー設置(大泉学園駅入口第二交差点~北園交差点の間6箇所)
		H19.11	ミスタードーナツ前道路の段差解消[右②]
		H20.2	路上駐輪実態調査(ゾーン・時間帯別利用時間・利用台数の把握)[右③]
H20.6~	商業ゾーンの地区計画案での壁面後退部分の活用方策		
H20.8	住宅ゾーンの地区計画案に関する意見交換会(土地建物所有者)		
H20.9~	再開発区域のあり方検討 放置自転車対策		
		H20.10	大泉街道案内看板設置[右④]
		H20.11	再開発区域のあり方に関する要望書提出[右⑤]
		H20.12	区道 22-152 号線歩道のインターロッキングブロック貼り替え[右⑥]
		H21.1	自転車利用に関する懇談会提案[右⑦]
H21.3~	まちづくり協定の検討		
H21.5~	住宅ゾーンの地区計画案に関する意向把握調査(土地建物所有者。個別訪問又は郵送)※1ページ参照	H21.5	民地での時間貸し駐輪ラックの設置の試み
		H21.7~	社会実験についての検討(歩道へのベンチ設置・放置自転車対策・イベント等)
		H22.1	大泉街道(セブンイレブン~三菱東京UFJ付近)への横断危険看板的の再設置。※4ページ参照

①大泉学園駅入口第二交差点への横断歩道及び歩行者用信号の設置

大泉街道が整備された当初は、旧道となった大泉街道付近の横断歩道、及び歩行者用信号が設置されていませんでした。
そのため、横断者の安全のため、横断歩道、及び歩行者用信号の設置を要望し、設置に至っています。



平成 17 年 7 月整備

②ミスタードーナツ前道路の段差解消

ミスタードーナツ前の道路では、以前は道路地盤面の高さの関係などから段差があり、雨天時の排水や歩行時の障害となっていたことから、段差解消工事を行いました。
また、放置自転車が歩行者等の障害となっているため、集中的な放置自転車対策を実施しています。



平成 19 年 11 月整備

③路上駐輪実態調査の実施

大泉学園駅北口では、放置自転車が頻りに発生しています。一方で、自転車は商店街等への来客の重要な足になっていることから、駐輪実態の詳細(置き場所や利用時間帯、駐輪時間等)を把握するため、懇談会メンバーも参加して駐輪実態把握調査を実施しました。



平成 20 年 2 月実施

④大泉街道案内看板設置

ゆめりあと大泉街道が整備された後、大泉学園駅北口の道路構造が大きく変わりましたが、北口に誘導する案内標識が設置されませんでした。そのため、交通案内看板の設置を要望し、大泉学園駅入口第一交差点の東西2カ所に設置されました。



平成 20 年 10 月設置

⑥区道 22-152 号線歩道のインターロッキングブロック貼り替え

大泉学園駅入口第一交差点から大泉学園駅北口に至る歩道は、歩行者の通行量が多い場所ですが、インターロッキングブロックのがたつきが多く見られ、雨天時には水たまりもできていました。
そのため、インターロッキングブロックの貼り替え工事が実施され、快適な歩行空間の再生が行われました。



平成 20 年 12 月整備

⑦自転車利用に関する懇談会提案と民間敷地での時間貸し駐輪場設置の試み

自転車をうまく利用していただくことが、大泉学園駅北口の活性化につながることから、自転車の利用に関する検討や提案を行いました(平成 21 年 7 月提出)
また、一部で民地の店舗前部分等が時間貸し駐輪場として整備されるなど、懇談会で提案したラック方式のモデル的な取り組みが実施されています。



平成 21 年 5 月設置

⑤再開発区域のあり方の検討と要望書の提出

北口駅前ゾーンで検討されている再開発は、大泉学園駅北口の核として重要な役割が期待されることから、再開発区域のあり方に関する検討を行い、「大泉学園駅北口地区市街地再開発準備組合」に対して要望書を提出しました。(平成 20 年 11 月提出)

大泉学園駅北口では、北口駅前ゾーンとして区分している地区(1ページ参照)において、平成 20 年 6 月に再開発準備組合が設立されており、現在駅前広場の整備と建物共同化によって、大泉学園駅北口の拠点となる施設整備を検討しています。



これまでの懇談会での検討の様子

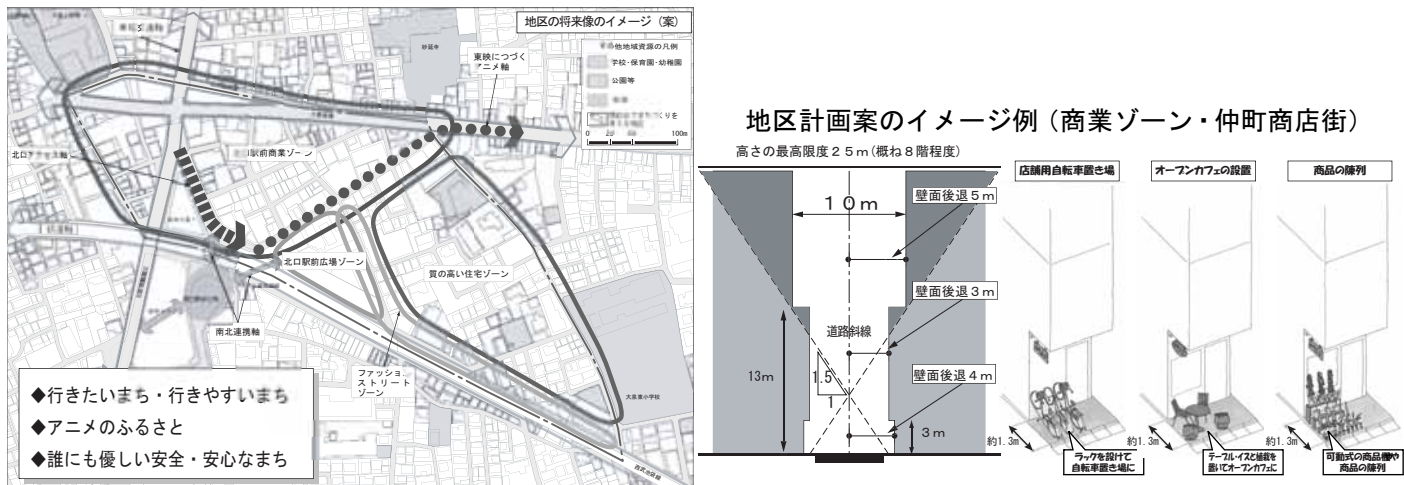


■まちづくり懇談会を通してのこれまで成果の概要(その2)

まちづくり計画案の作成、地区計画案の作成(商業ゾーン・住宅ゾーン※)

まちづくり懇談会では、大泉学園駅北口の利用者へのアンケートや土地建物所有者へのアンケート・意向把握調査などを実施し、大泉学園駅北口地区のまちづくり計画案の作成を行いました。

また、この計画の中の具体的取り組みの1つとして、商業ゾーン・北口駅前ゾーン・住宅ゾーンの地区計画案の作成も行っています。



※商業ゾーン、住宅ゾーンについては、1ページ目のゾーン区分図を参照して下さい。

●大泉街道に横断危険看板が再設置されました。

大泉街道の右図の場所に横断危険看板が再設置されました。

大泉街道の道路整備当初には設置されていましたが、再整備の際に撤去されたため、地元の要望によって再度設置されることになりました。



これからも地域のみなさまには、まちづくりニュースを通して、懇談会の活動についてお知らせしていきたいと思えます。これまでに発行したまちづくりニュースも練馬区ホームページに掲載されていますのでご覧ください。
(掲載場所 <http://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/machi/kakuchiiki/oizumi/index.html>)

ホームページアドレスが新しくなりました!!

大泉学園駅北口地区のまちづくりについてご意見・ご要望がある方は、下記の《お問い合わせ先》事務局までご連絡ください。

◆お問い合わせ先

《事務局》練馬区 環境まちづくり事業本部

都市整備部 西部地域まちづくり課 池上、山口、三好、多賀

TEL 5984-4753(直通) E-mail seibu02@city.nerima.tokyo.jp